

スマイル通信

2023



12月は急な大雪による積雪がありました。皆さんいかがお過ごしでしたか。

1月7日の七草の日、「七草粥」を食し、今年1年の無病息災を願います。そして、1月11日は「鏡開き」。鏡餅には歳神様の魂が宿っているとされ、お供えした鏡餅を割っていただくことで歳神様の恩恵を授かります。

お正月だけでなく、四季折々に餅を食する文化がある日本、どんな由来があるのでしょうか。

鏡餅

平たく丸い餅を重ねて、お供えとしたもの。三種の神器のひとつ、神が宿るとされた鏡を模したものとされている。上についている果物は、正式には橙(だいたい)。「代々、家が繁栄するように」と願う語呂合わせ。多くの地域で、1月11日の「鏡開き」まで飾った後に食べる。

ひし餅

邪気を払い、強い生命力を象徴するといわれる「よもぎ」で作った草餅をひし形にしたものがはじまりとされる。地域によって違いはあるが、ひな祭りには、緑、白、桃色の3色が飾られる。緑は「健康」、白は「清浄」、桃は「魔除け」を意味するといわれる。



ぼたもちとおはぎ

炊いた後に潰した「もち米」や「うるち米」に、あん、きな粉、ごまなどを付けたもの。お彼岸に供える風習から始まったお菓子で、春に作るものは「牡丹餅(ぼたもち)」、秋は「萩の餅(おはぎ)」と呼ばれている。現在では、こしあんを使うと「ぼたもち」、つぶあんなら「おはぎ」と呼ぶ地域もある。

桜餅

鉄板上で薄く延ばして焼いた餅であんこを包み、さらに桜の葉で巻いた餅菓子。桜の名所である隅田川沿いの長命寺が発祥といわれている。関西では、あんが入った俵型の餅菓子を使ったものが多く「道明寺桜餅」、あるいは単に「道明寺」と呼ばれている。



柏餅

平たく丸い餅を2つに折ってあんを挟み、さらに柏の葉に包んだ餅菓子。江戸時代に作られはじめたとされる。5月5日に男児の成長を願う、端午の節句の供え物に使われている。新芽が育つまで落ちないことで「子孫繁栄」の願いを表しているとされる。

月見団子

関東は丸、関西では里芋形のあんを包んだ団子を用いていることが多い。平安時代に中国から伝わった風習で、秋の収穫に感謝を込めて、中秋の名月に供え物をしたのが由来とされている。



「ぼたもち」にまつわるこんな民話がありました。

侍が山中のある家に泊めてもらい、寝床に入る準備をしていたところ、家の老夫婦が「明日は、半殺しにしよう」と相談しているのを盗み聞きします。侍は、自分が殺されるのではないかと慌てふためくもの、翌朝美味しいぼたもちをごちそうになった、というお話です。

※半殺しとは？

炊いたお米の粒を半分くらい残るように潰した状態のことを言う。



重要なお知らせ

令和5年4月1日から 避難者交流センターが 秋田県庁舎に移ります。

これまで、避難者交流センターを県生涯学習センター内に設置して皆様にご利用いただいておりますが、令和5年4月1日から秋田県庁舎内に移転することとしました。

避難者支援相談員との相談や各種情報の提供等は県庁舎内で行い、イベントや保健師相談会は秋田市役所等の貸出スペースを借りて開催しますので、これまでどおりサービスをご利用いただけます。

御理解、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

【令和5年4月1日からの開設日時・場所等】

開設日 月～金（祝日、12月29日～1月3日除く）

※土曜日は、予約制で相談等に応じます。

開設時間 午前9時半～午後4時半

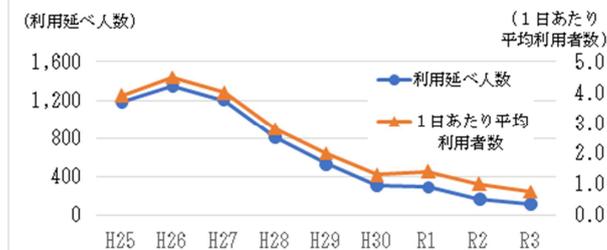
場 所 秋田県庁舎内

電 話 018-860-4504

※移転場所の詳細は、後日、お知らせします。

避難者交流センターの利用状況

避難者交流センターの利用者数は、平成26年度の1,344人をピークに年々減少しています。令和3年度は、利用者数が111人、1日あたりの平均利用者数は0.75人でした。



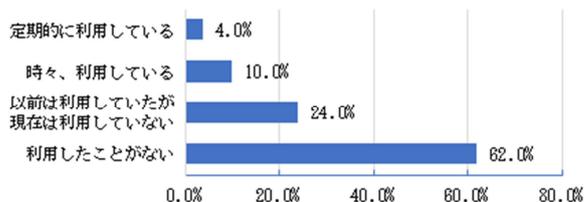
避難者交流センターに関するアンケート調査結果

毎年、御協力をいただいている県内避難者アンケート調査に併せて昨年6月～8月に実施した、避難者交流センターに関するアンケート調査の結果です(回答率30.1%)。

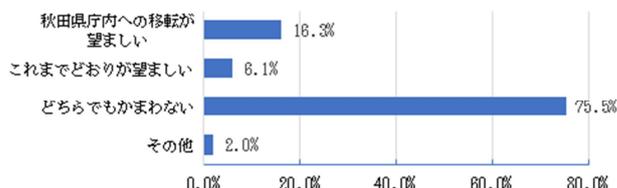
避難者交流センターの利用状況を見ると、「定期的に利用している」又は「時々、利用している」と答えた方は、合わせて14.0%でした。

今後のあり方については、「秋田県庁内への移転が望ましい」は16.3%、「これまでどおりが望ましい」6.1%、「どちらでもかまわない」が75.5%でした。

【避難者交流センターの利用状況】



【今後のあり方】



避難者交流センター

開館日 **水・木・金曜日 第2・第4土曜日**
 (祝日、生涯学習センター休館日は休館します)

開館時間 午前9時半～午後4時半

場所 秋田市山王中島町1-1
 (秋田県生涯学習センター3F)

TEL 080-2812-5987



避難者交流センターには相談員が、当番制で在室しております。裏表紙のカレンダーで当番相談員をお知らせしています。

皆さまのくつろげる場所、情報収集の場としてご利用ください。感染症予防対策にもご協力をお願いいたします。



遠方の方や、交流センターを訪れることが難しい方も、お電話でお気軽にご相談ください。「ただ話を聴いてほしい」「ちょっと誰かと話したくなった」などのお電話でも大丈夫です。お気軽にご利用ください。

おたがいさま掲示板

「ゆずります」「ゆずってください」両方の声を避難者交流センター内に掲示し、譲り合いのお手伝いをしています。

ゆずります

- ・そろばん  全14巻
- ・こども名作全集(全14巻)
- ・自転車(低学年用)サビあり。
(整備をしてからお乗りください。) 

譲りたいものがある方は、交流センターに写真をお持ちいただくか、下記へ画像データをお送りください。
 E-mail: hisaisya-shien@pref.akita.lg.jp

◆ 問い合わせ先
 秋田県総務課被災者支援班
 TEL018-860-4504

ゆずってください

- ・冬用ブーツ(20cm～)
- ・冬用ブーツ(28cm)
- ・スキー用手袋 女の子用
- ・スキー用手袋 女の子用(5歳～)
- ・スニーカー(20cm～) 男の子・女の子用
- ・スニーカー(27～28cm)
- ・洋服(130cm以上) 男の子・女の子用
- ・洋服 男性用 Lサイズ
- ・自転車(26インチ) 2台 
- ・ベビー服
- ・ベビー用品
- ・八橋小学校体操着(150cm以上)



イベントのお知らせ

秋田県避難者交流センター(秋田県生涯学習センター3F)

TEL 080-2812-5987

～新型コロナウイルス感染拡大防止対策とお願い～

- ・イベント開催にあたっては、少人数、距離の確保、換気を行うなど、感染防止対策を徹底してまいります。
- ・不織布マスクの着用や手指消毒にご協力をお願いします。
- ・当日体調不良等の症状のある方は、参加をご遠慮ください。
- ・状況によりイベントを中止させていただく場合があります。中止の場合、参加申し込みをされた方には電話 連絡いたします。

ちくちくの会

支援相談員と一緒にぞうきを縫いませんか？

皆さまに心を込めて作っていただいたぞうきは、被災3県などにお届けしています。どうぞお気軽にご参加ください。

令和5年

1月 5日(木)、12日(木)、19日(木)、26日(木)

2月 2日(木)、9日(木)、16日(木)

午後1時～4時 お好きな時間にお越しください。

報告

これまでの累計4245枚！

心のコもったぞうきは、たくさんの方のお役に立っています。
多くの方のご参加をお待ちしています!!



お茶っこタイムいいねが♪

『いいねが♪』は秋田弁で「いいじゃない♪」を意味します。
好きなことをして過ごしましょう♪

ゆっくりと雑誌を読んだり、編み物や裁縫に熱中したり、おしゃべりを楽しんだり、各々好きなことをして過ごしています。交流センターには毛糸やかぎ針、裁縫道具やミシンもあります。

どうぞお気軽にお立ち寄りください(^_^)

【開催日時】 令和5年 1月19日(木) 午後1時30分～3時30分

【参加料】 無料

【サークル名】 お茶っこタイム「いいねが♪」



こころの寄り添い事業

1月 保健師相談会



秋田県避難者交流センターにて、保健師による『こころの寄り添い相談会』を開催しています。
相談内容は厳守しますので、安心してご利用ください。

保健師が
お待ちしております

皆さまが毎日を快適に過ごせるように、健康相談や子育てに関する相談などを行っています。その場で血圧測定もでき、生活の相談にも丁寧に応じます。

【開催日時】 令和5年 1月26日(木) 午後1時～4時

【相談員】 在宅保健師(ゆずり葉の会)

※ 終了時間の30分前までにお越しください。
※ 静かにお話ししたい方には、個室をご用意します。

交流サロン(in 大仙市) 毎月第4日曜日開催

大仙フレンズより

「あれから11年!!今でも変わらない、つながる想い!!」

旧年中は大変お世話になりました。皆さまのお力とご理解で成り立つ「交流サロン」です。本年もよろしくお願いいたします。

【1月の交流サロンの日】

【日時】 令和 5年 1月22日(日)

午前10時～午後3時

【場所】 地域交流センター「はびねす大仙」
大仙市幸町2-70 電話 0187-88-8722

【内容】 「郷土料理」教室
被災県(岩手・宮城・福島)の一品と
秋田県の一品を考えています。

【昼食代】 大人 300円(小学生以下無料)

※新型コロナの感染状況により中止も考えられます。
予めご了承ください。

連絡先

大仙フレンズ(担当;高橋)

TEL;090-9670-2852 FAX;0187-42-8645



はびねす大仙



保健師による相談会も開催します!

健康に不安なこと、保健師にご相談ください!

横手・湯沢避難者交流サロン

避難されてきた方同士、ふるさとへの思いを語り合ったり、また地域の支援サポーターから情報を得たり、県南区域で安心した生活を送るお手伝いをします。1月は『**ハンドマッサージ**』です!参加ご希望の方は、事前の申込みをお願いします。
参加された皆さまが楽しめるイベントを開催します。
みなさまのご来場をお待ちしております!

【日時】 令和5年1月20日(金)

午前10時～午後3時

【場所】 横手市高齢者センター内1F
(横手市条里二丁目2番52号)



保健師による相談会も開催します!

健康に不安なこと、保健師にご相談ください!



【お問合せ先】事務局 秋田県南 NPO センター(担当 今) 〒013-0046 横手市神明町1-9

TEL 0182-33-7002(毎週木曜日休館) FAX 0182-33-7038 メール konkon@biscuit.ocn.ne.jp



スマイル通信 イベントカレンダー[R5.1~]



日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
1 元旦 【避難者交流センター休館日】	2 振替休日 【避難者交流センター休館日】	3 【避難者交流センター休館日】	4 【避難者交流センター休館日】	5 矢澤相談員 「ちくちくの会」 13:00~16:00 (避難者交流センター)	6 菊地相談員	7 【避難者交流センター休館日】
8 【避難者交流センター休館日】	9 成人の日 【避難者交流センター休館日】	10 【避難者交流センター休館日】	11 只野相談員	12 菊地相談員 「ちくちくの会」 13:00~16:00 (避難者交流センター)	13 矢澤相談員	14 菊地相談員
15 【避難者交流センター休館日】	16 【避難者交流センター休館日】	17 【避難者交流センター休館日】	18 菊地相談員	19 只野相談員 「ちくちくの会」 13:00~16:00 「お茶っこタイムいっしょが」 13:30~15:30 (避難者交流センター)	20 只野相談員 「横手・湯沢交流サロン」 ※保健師研修会 ※ハンドマッサージ 10:00~15:00 (横手市高齢者センター)	21 【避難者交流センター休館日】
22 【避難者交流センター休館日】 「交流サロン in 大仙」 《郷土料理教室》 10:00~15:00 (はびねす大仙)	23 【避難者交流センター休館日】	24 【避難者交流センター休館日】	25 只野相談員	26 矢澤相談員 「ちくちくの会」 「保健師による定期研修会」 13:00~16:00 (避難者交流センター)	27 菊地相談員	28 矢澤相談員
29 【避難者交流センター休館日】	30 【避難者交流センター休館日】	31 【避難者交流センター休館日】	2/1	2 「ちくちくの会」 13:00~16:00 (避難者交流センター)	3	4 【避難者交流センター休館日】

フリートーク

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、年末にサッカーワールドカップ日本代表がベスト16に入る大活躍がありました。今年はこうした明るい話題の多い年になってほしいものです。

ところで、一昨年から二十数年ぶりにスキーを始めました。そこで驚いたのは、昔と違い多くのスキーヤーがヘルメットを着用していることでした。私も購入しましたが、怪我をしないように冬のスポーツを楽しみ、寒い季節を乗り切りたいと思います。(田澤)

次号スマイル通信
2月9日発行予定



【スマイル通信】(秋田県内避難者支援情報紙)
令和5年 1月11日 第134号
秋田県総務部総務課被災者支援班
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1
電話 018-860-4504
E-mail: hisaisya-shien@pref.akita.lg.jp